

株主のみなさまへ

第83期

事業報告書



---

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

---



森永乳業株式会社  
証券コードNo.2264

# 経営方針

当社グループは、「無限に広がる『乳の力』をもとに新しい食文化を創出し、人々の健康と豊かな社会づくりに貢献する。」を経営理念としております。

この実現のため当社ブランドに対する信用のさらなる向上をめざし、お客様志向の徹底と品質第一主義、成長事業への重点投資、基盤事業での収益力確保、グループ経営の強化を基本方針とし、一層の事業拡大をはかってまいります。

## CONTENTS

- 1 経営方針
- 2 株主のみなさまへ
- 3 営業の概況
- 7 研究開発活動
- 8 環境保全・社会貢献活動
- 9 連結財務諸表
- 12 個別財務諸表
- 14 トピックス
- 15 商品のご紹介
- 23 ネットワーク
- 25 会社概要
- 26 株式情報



# 株主のみなさまへ



## ごあいさつ

株主のみなさまには平素格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

当社第83期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の事業の概況をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

よろしくご高覧賜わりますようお願い申し上げます。

森永乳業グループは、当社ブランドに対する信用のさらなる向上をめざして、お客さま志向の徹底と品質第一主義、成長事業への重点投資、基盤事業での収益力確保、グループ経営の強化を基本方針とし、一層の事業拡大をはかってまいります。

現在の取り組みといたしましては、乳飲料・ティー、ヨーグルト、チーズなど成長分野への経営資源の重点配分による商品の育成・拡大と、ブランド商品の強化など商品構成の改善に努めております。生産面では、西日本地区での最新鋭の基幹工場として神戸工場が、本年5月よりアセプティックカップ飲料の生産を開始いたしました。引き続き臨床栄養食品、ヨーグルトと順次生産を開始する予定でございます。また、経営改革、意識改革、人的資産の育成などマネジメントの質の向上とともに

に、生産、販売、物流、管理など各処でのローコストオペレーションの徹底をはかっております。また一方で、激変する経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できる経営体制を実現するために、販売部門と生産部門の組織改正を実施しております。

グループにおきましては、当社を核としたより効率的な連結経営システムの構築を進めております。

商品開発におきましても「おいしいをデザインする」というスローガンのもとに販売、研究、開発部門が一体となってお客さまのニーズにあった価値ある商品の提供に努めるとともに、品質保証体制の一層の強化に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役社長 古川 純一

# 営業の概況

## ◆ 連結当期の概況

当期のわが国経済は、原油価格の高騰などの不安定な要因はあるものの、企業収益の改善や設備投資の増加など景気回復の兆しがみられました。また、雇用情勢が改善されるとともに、個人消費も緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、食品業界におきましては、デフレ傾向が続いており、消費の回復は鈍く、販売競争の激化もあり、厳しい経営環境でありました。また、食品の安全・安心、環境保全など企業の社会的責任がますます求められております。

乳業界におきましては、生乳生産量は前年並となりました。飲用牛乳の生産量は、牛乳、加工乳とも前年を下回りました。また、乳飲料およびはっ酵乳の生産量は前年を上回りました。一方、乳製品需給は、飲用需要の減少の影響を受け、脱脂粉乳やバターが過剰在庫となり、業界をあげてその対応に取り組んでおります。

このような環境の中で、森永乳業グループは、お客様のニーズに応えた商品の開発、改良に努め、効率的な販売促進活動を展開するとともに、ローコストオペレーションの徹底や不採算商品の削減などにより収益力の強化をはかってまいりました。

しかしながら、前年の猛暑の影響の反動、品種削減を進めたことおよび一部商品の売上が伸び悩んだことから、当期の連結売上高は前年比2.2%減の5,521億7千1百万円となりました。

利益面におきましても、売上減少の影響や原材料価格の上昇等により営業利益は前年比34.1%減の91億3千万円、経常利益は前年比27.8%減の113億5百万円、当期純利益は前年比46.9%減の38億1千5百万円となりました。

## ◆ 連結部門別の状況

部門別の状況（部門間取引消去前）は次のとおりです。

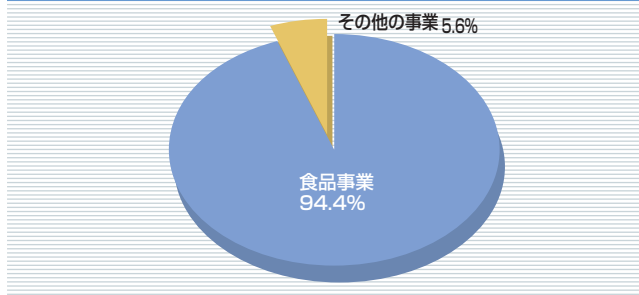
### 食品事業（市乳、乳製品、アイスクリーム、飲料など）

当期の売上高は5,274億2千6百万円（前年比2.4%減）、営業利益は270億8千3百万円（前年比14.6%減）になりました。

### その他の事業（飼料、プラント設備の設計施工など）

その他の事業につきましては、売上高は312億4千2百万円（前年比0.2%減）、利益面では営業費用の減少もあり、営業利益は23億3千9百万円（前年比11.4%増）となりました。

■ 連結部門別売上高構成比



## ◆ 個別売上高の状況

当期の売上高は、前年比2.6%減の4,286億2千7百万円、営業利益は前年比45.5%減の47億5千2百万円、経常利益は前年比31.5%減の73億1千4百万円、当期純利益は前年比34.1%減の27億1千2百万円となりました。

また、財団法人ひかり協会に対する負担金として、当期は16億8百万円を支出いたしました。

## ● 市乳

牛乳類は、「森永のおいしい牛乳」が販売戦略の見直し効果等により前年を上回りましたが、不採算商品の品種削減の影響もあり、牛乳類全体では前年の売上を下回りました。

乳飲料は、カップ飲料の「カフェラッテ」などのマウントレ

ーニアシリーズや「リプトンミルクティー」が堅調に推移し、前年を上回る売上となりました。

ヨーグルトは、新商品の「アロエヨーグルトハンディスタイル」などのフルーツヨーグルトやプレーンヨーグルトが売上に貢献しましたが、ハードヨーグルトやドリンクヨーグルトが前年を下回り、ヨーグルト全体の売上はほぼ前年並にとどまりました。

プリンは、「プティポとろふわプリン」や「空スイーツ」などの新商品が売上に貢献しましたが、前年に大きく伸びた「でかでかプリン」などのたっぷりシリーズの不振もあり、前年の売上を下回りました。

これらにより、市乳の売上高は前年比5.6%減の1,943億9千1百万円となりました。



# 営業の概況

## ● 乳製品

粉乳では、調製粉乳が出生数減少による国内市場縮小傾向のなか、「森永フォローアップミルクチルミル」は引き続き順調に推移し、「森永ペプチドミルクE赤ちゃん」も前年を上回りましたが、乳児用ミルク「森永ドライミルクはぐくみ」が前年を下回ったこともあり、調製粉乳全体では前年を下回る売上となりました。また、家庭用のスキムミルクはダイエットブームの影響で売上を大きく伸ばしましたが、「クリープ」や業務用の脱脂粉乳などの売上が前年を下回った結果、粉乳全体では前年を下回りました。

チーズは、クラフトブランドの「スライスチーズ」や「パルメザンチーズ」が好調に推移し、家庭用チーズはほぼ前年並の売上となりましたが、業務用チーズの売上が伸び悩み、チーズ

全体の売上は前年を下回りました。

練乳は前年並の売上でしたが、バターの上は前年を下回りました。

これらにより、乳製品の売上高は、前年比1.7%減の900億6千8百万円となりました。

## ● アイスクリーム

前年の猛暑の反動により「みぞれ」等の氷菓は前年を下回りましたが、主力商品である「ピノ」が期間限定商品の導入など品揃えの強化により売上を拡大し、さらに新商品「PARM（パルム）」なども売上拡大に寄与したことから、アイスクリーム全体の売上高は前年比2.2%増の401億3千2百万円となりました。



## ● その他

飲料は、リプトンティーは引き続き堅調に推移しましたが、サンキストジュースやアロエドリンクなどその他の飲料の売上が前年を下回ったことから、全体では前年を下回る売上となりました。

流動食、フルーツゼリー、クリームは前年を上回る売上となりました。

これらにより、その他の売上高は前年比0.6%増の1,040億3千4百万円となりました。



## ◆ 設備投資の状況

当期中に実施いたしました設備投資の総額は284億円であり、このうち当社では総額251億円（消去前）の設備投資を実施しております。内容といたしましては、食品事業を主としており、その主なものは次のとおりであります。

当社

神戸工場

中京工場

支社・支店

子法人等

富士乳業株式会社

森永北陸乳業株式会社

熊本乳業株式会社

乳飲料・ヨーグルト・流動食設備新設

市乳・アイスクリーム設備増強他

販売および物流設備増強他

アイスクリーム設備増強他

アイスクリーム設備増強他

市乳設備増強他

## ◆ 資金調達状況

当社は平成17年2月25日開催の取締役会決議に基づき、第5回国内無担保社債（平成17年4月26日払込期日、平成24年4月26日償還期限、総額100億円）および第6回国内無担保社債（平成17年4月26日払込期日、平成22年4月26日償還期限、総額100億円）を一般募集により発行いたしました。また、当社は、機動的な資金調達を行うために取引金融機関15行との間で、総額200億円のコミットメントライン契約を締結しておりますが、当期末において借入は実行しておりません。

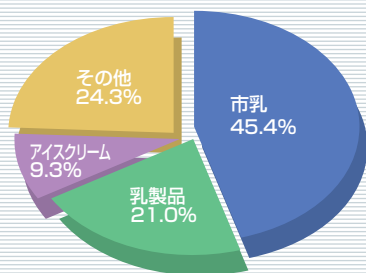
## ◆ 次期の見通し

通期連結業績予想につきましては、売上高5,650億円（前年比2.3%増）、営業利益108億円（同18.3%増）、経常利益125億円（同10.6%増）、当期純利益50億円（同31.1%増）を見込んでおります。

わが国経済は、企業収益の改善を背景に、民間設備投資や個人消費を中心に自律的な景気拡大が継続するものと思われま。しかしながら、食品業界におきましては、消費者のニーズが多様化する一方で、低価格志向が継続し、引き続き厳しい販売競争が見込まれます。また、原油価格の高騰による素材・包材価格や燃料価格の高止まり懸念も残り、経営環境は依然厳しいと思われま。

こうしたなかで、当社グループは引き続き経営改革の推進、成長分野への重点投資と商品構成の改善により収益力の改善をはかってまいります。

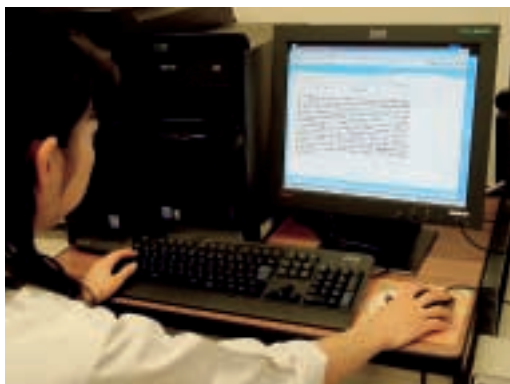
## ■ 個別品目別売上高構成比



# 研究開発活動

森永乳業グループの研究開発は、「おいしいをデザインする」を基本テーマに、食品総合研究所、栄養科学研究所、生物科学研究所が中心となって「おいしさに優れた商品」「健康に寄与する商品」「安全で品質の高い商品」の開発をめざして、研究開発活動を行っています。また、装置開発研究所では工場の製造設備や製造機器の開発・改良、分析センターでは商品の安全性の確保と品質向上のための分析技術の研究、応用技術センターではお客さまにお喜びいただけるメニューレシピの開発と製商品の評価を行っています。

これらの研究成果は、人々の生涯にわたる「食」をささえる製品に幅広く活かされています。今後も21世紀に急進展する少子高齢化社会に向けて、人々の健康と豊かな生活に貢献したいと考えています。



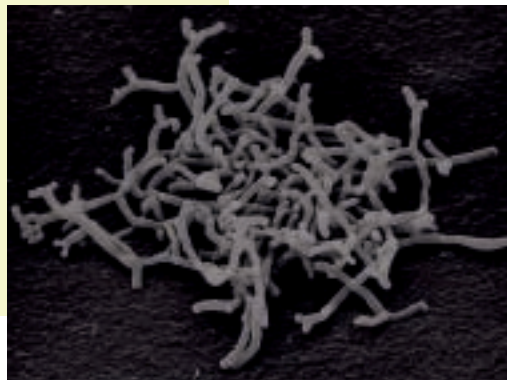
## ● ビフィズス菌BB536

森永乳業では、ビフィズス菌の研究にいち早く着目し、独自の技術で培養したビフィズス菌BB536を使用した商品を多数発売しています。

ビフィズス菌BB536の最新研究として、花粉症などアレルギーに対する効果の検証、高齢者のインフルエンザ予防に対する効果の検証などが現在進行中です。

今年3月に開催された日本農芸化学会2006年度大会では、栄養科学研究所が「高齢者のインフルエンザウイルス感染予防作用」について研究結果を発表しました。それによると、ビフィズス菌BB536を継続摂取しなかったグループでは14人中5人がインフルエンザを発症した一方、継続摂取したグループでは15人中1人も発症せず、高齢者のインフルエンザウイルス感染に対して、同菌に予防効果があることを明らかにしました。

今後もビフィズス菌BB536やラクトフェリンなどの機能性素材の研究を進めてまいります。





# 環境保全・社会貢献活動

## ■ 本社・研究情報センターで「ISO14001」認証を取得

森永乳業は環境に配慮し、社会に貢献する企業であることを経営理念のひとつに掲げ、1993年に環境保全業務要領および環境方針を定め、1998年からはISO14001認証取得を推進し、2005年3月までに当社全工場の認証取得が終了しています。さらに、グループ全体で環境経営に取り組んでいくために、本社と研究情報センターで2006年2月にISO14001の認証を取得しました。今回の取得は、地球温暖化防止・省エネルギー、廃棄物の発生抑制・省資源のみならず、本社・研究情報センターにおける研究・開発・商品開発・生産技術・物流・販売の各部署での本来業務のなかで環境を考慮することをその認証対象としている点に特徴があります。

今後とも主要グループ会社で認証の取得をめざします。



## ■ コージェネレーションシステム導入

森永乳業グループでは、工場でコージェネレーションシステムの導入を進めており、2006年3月までに10工場に設置しています。コージェネレーションとは燃料を用いて発電するだけでなく、その時に発生する排熱も利用する優れた省エネルギーシステムです。

今年1月に設置した利根工場では、同工場と併設する筑波医薬品工場に安価な電力を供給し、余剰の電力を電力事業者に売却しています。ガス発電の排ガスは、廃熱ボイラーで蒸気を発生させ工場に送気し、あわせて発電機のエンジン冷却に使用した温水で、吸気式冷凍機により冷水を作り、この冷水で還元水を冷却することにより、用水使用量を削減します。



## ■ エムズキッチン・キッズ

森永乳業では、2003年から一般消費者のお客さまを対象に牛乳・乳製品を使用した料理教室「エムズキッチン」を開催しています。

また、昨年7月に施行された食育基本法を受けて、次代を担う子どもたちを対象とした「エムズキッチン・キッズ」をスタートさせました。調理の方法だけでなく、食の知識を伝えることを目標としており、子どもたちには食の大切さを学んでもらう企画に取り組んでいます。今後、乳業メーカーならではの特色を活かしたプログラムを展開してまいります。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

当連結会計年度 前連結会計年度  
(平成18年3月31日現在) (平成17年3月31日現在)

■ 資産の部		
流動資産	117,349	109,720
固定資産	222,107	202,834
有形固定資産	170,065	155,979
無形固定資産	3,537	3,456
投資その他の資産	48,503	43,397
<b>資産合計</b>	<b>339,456</b>	<b>312,554</b>
■ 負債の部		
流動負債	140,268	139,788
固定負債	97,402	75,121
<b>負債合計</b>	<b>237,670</b>	<b>214,909</b>
■ 少数株主持分		
少数株主持分	2,336	2,207
■ 資本の部		
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,452	19,449
利益剰余金	52,458	50,201
その他有価証券評価差額金	6,000	4,218
為替換算調整勘定	142	118
自己株式	△ 308	△ 254
<b>資本合計</b>	<b>99,449</b>	<b>95,437</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>339,456</b>	<b>312,554</b>

## ◆ 流動資産

現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ、76億2千9百万円の増加となりました。

## ◆ 固定資産

当社神戸工場建設に伴う建設仮勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ、192億7千3百万円の増加となりました。

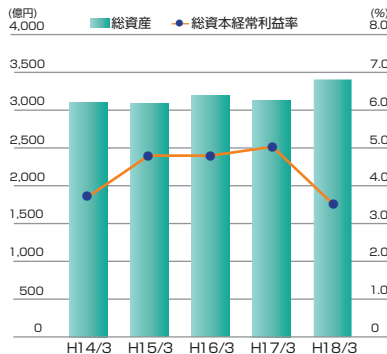
## ◆ 流動負債

当社神戸工場建設に伴い未払設備代は増加しましたが、一年以内償還予定社債の減少などにより、前連結会計年度末並の水準となりました。

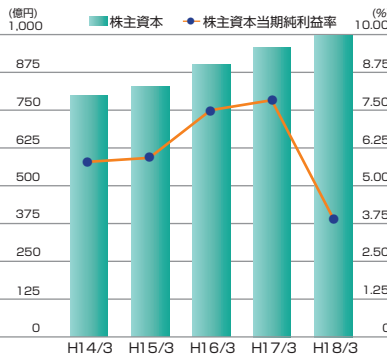
## ◆ 固定負債

社債及び長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ、222億8千1百万円の増加となりました。

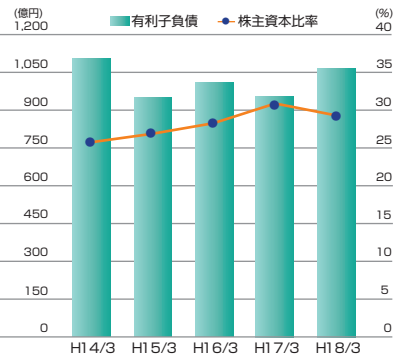
## ● 総資産/総資本経常利益率



## ● 株主資本/株主資本当期純利益率



## ● 有利子負債/株主資本比率



## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

	当連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	前連結会計年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
売上高	552,171	564,666
売上原価	389,006	392,376
売上総利益	163,164	172,290
販売費及び一般管理費	154,034	158,437
営業利益	9,130	13,853
営業外収益	3,881	3,517
営業外費用	1,705	1,702
経常利益	11,305	15,668
特別利益	4,242	1,536
特別損失	6,872	4,212
税金等調整前当期純利益	8,676	12,991
法人税、住民税及び事業税	3,076	5,495
法人税等調整額	1,668	292
少数株主利益	115	23
当期純利益	3,815	7,180

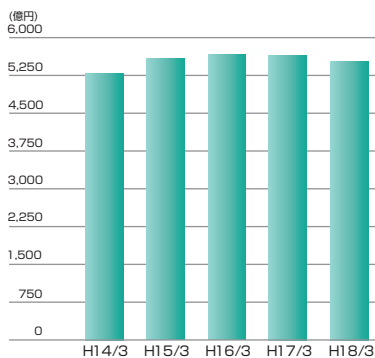
## ◆ 営業利益・経常利益

売上高の減少に加え、原材料価格の上昇の影響などもあり、営業利益は47億2千3百万円の減益、経常利益は43億6千2百万円の減益となりました。

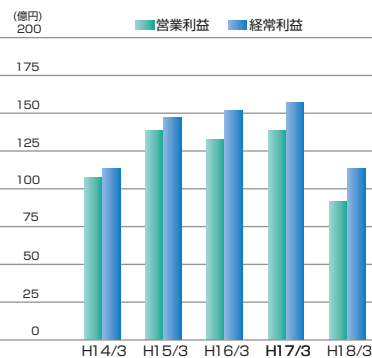
## ◆ 当期純利益

経常利益の減少により、当期純利益につきましても、33億6千5百万円の減益となりました。

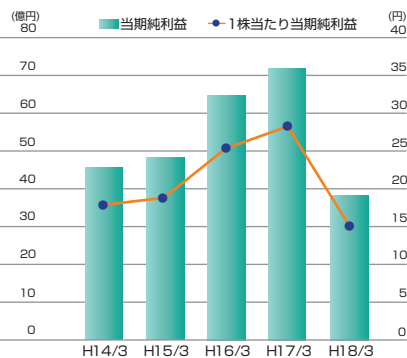
### ● 売上高



### ● 営業利益/経常利益



### ● 当期純利益/1株当たり当期純利益



# 連結財務諸表

## ■ 連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切捨て)

当連結会計年度  
(自 平成17年4月1日  
至 平成18年3月31日)

前連結会計年度  
(自 平成16年4月1日  
至 平成17年3月31日)

### ■ 資本剰余金の部

資本剰余金期首残高	19,449	19,443
資本剰余金増加高	3	6
資本剰余金期末残高	19,452	19,449

### ■ 利益剰余金の部

利益剰余金期首残高	50,201	44,689
利益剰余金増加高	3,815	7,180
利益剰余金減少高	1,558	1,668
利益剰余金期末残高	52,458	50,201

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

当連結会計年度  
(自 平成17年4月1日  
至 平成18年3月31日)

前連結会計年度  
(自 平成16年4月1日  
至 平成17年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	17,969	19,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,457	△15,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,410	△7,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	△11
現金及び現金同等物の増減額	2,958	△3,260
現金及び現金同等物の期首残高	6,625	9,914
連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の期首残高増加額	1,685	—
連結子会社減少に伴う現金及び現金同等物の期首残高減少額	—	△28
現金及び現金同等物の期末残高	11,268	6,625

## ◆ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入の減少や法人税等の支払額の増加などにより、前連結会計年度に比べ16億8千1百万円減少いたしました。

## ◆ 投資活動によるキャッシュ・フロー

前連結会計年度に出資金の償還等による収入が66億5千3百万円あったこともあり、前連結会計年度に比べ83億5千2百万円の支出増加となりました。

## ◆ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入などにより、前連結会計年度に比べ162億6百万円増加いたしました。

## ■ 連結対象会社

### ◆ 連結子会社 (28社)

エムケーチーズ(株)  
(株) デイリーフーズ  
東洋乳業(株)  
他 25社

### ◆ 持分法適用会社 (5社)

(株) 日酪  
他 4社

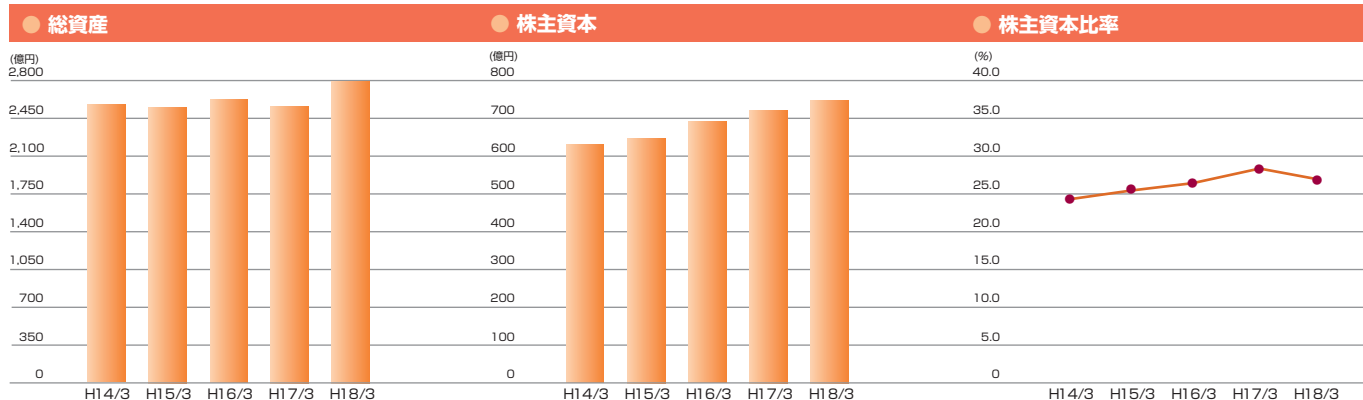
# 個別財務諸表

## 貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

	第83期 (平成18年3月31日現在)	第82期 (平成17年3月31日現在)
<b>■ 資産の部</b>		
流動資産	108,890	102,385
固定資産	169,662	153,564
有形固定資産	119,725	108,166
無形固定資産	2,709	2,689
投資その他の資産	47,227	42,708
<b>資産合計</b>	<b>278,552</b>	<b>255,949</b>

	第83期 (平成18年3月31日現在)	第82期 (平成17年3月31日現在)
<b>■ 負債の部</b>		
流動負債	130,270	129,333
固定負債	73,633	54,743
<b>負債合計</b>	<b>203,903</b>	<b>184,077</b>
<b>■ 資本の部</b>		
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,488	19,449
利益剰余金	28,176	27,007
利益準備金	3,529	3,529
任意積立金	18,857	15,270
当期末処分利益	5,789	8,207
その他有価証券評価差額金	5,588	3,964
自己株式	△ 308	△ 254
<b>資本合計</b>	<b>74,648</b>	<b>71,871</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>278,552</b>	<b>255,949</b>



# 個別財務諸表

## 損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

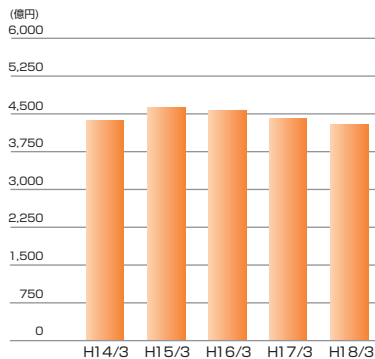
	第83期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	第82期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
売上高	428,627	440,187
売上原価	316,901	321,895
売上総利益	111,725	118,292
販売費及び一般管理費	106,973	109,570
営業利益	4,752	8,722
営業外収益	4,010	3,445
営業外費用	1,448	1,492
経常利益	7,314	10,674
特別利益	3,886	992
特別損失	6,326	4,292
税引前当期純利益	4,874	7,374
法人税、住民税及び事業税	1,024	3,252
法人税等調整額	1,137	6
当期純利益	2,712	4,115
前期繰越利益	3,077	4,092
当期末処分利益	5,789	8,207

## 利益処分

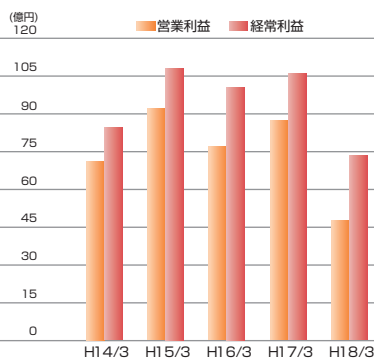
(単位：円)

	第83期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
<b>(当期末処分利益の処分)</b>	
当期末処分利益	5,789,980,059
退職手当積立金取崩額	330,000,000
固定資産圧縮記帳積立金取崩額	37,274,754
合計	6,157,254,813
これを次のとおり処分いたします。	
株主配当金	1,519,038,942
(1株につき普通配当6円)	
固定資産圧縮記帳積立金	712,690,170
別途積立金	1,000,000,000
次期繰越利益	2,925,525,701
<b>(その他資本剰余金の処分)</b>	
その他資本剰余金	
自己株式処分差益	10,497,110
これを次のとおり処分いたします。	
その他資本剰余金次期繰越高	
自己株式処分差益	10,497,110

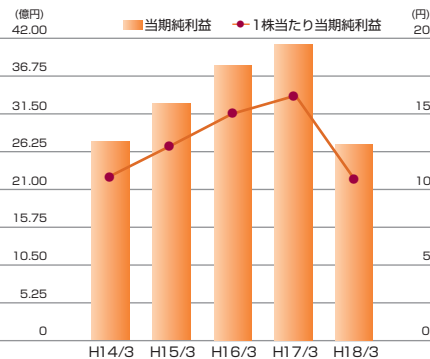
### 売上高



### 営業利益/経常利益



### 当期純利益/1株当たり当期純利益



# トピックス

## ● 宅配軽量壺が経済産業大臣賞を受賞

時代と社会の要請に対応し、生活文化に優れたパッケージとその技術の開発普及に資する商品を選定して表彰する（社）日本包装技術協会主催の「2005パッケージングコンテスト」で、当社の「宅配用牛乳壺」が最優秀作品に贈られる経済産業大臣賞を受賞しました。

当社の宅配用牛乳壺は、現行の壺に比べ重量にして53%の軽さ（当社比）で、業界最軽量で特徴あるフォルムの軽量壺です。さらに、誰にでも使いやすい「ユニバーサルデザイン」の持ちやすい形状にしました。現在、軽量壺は、東海、四国、九州地区で導入していますが、今年度内に近畿、首都圏地区に順次拡大する予定です。



## ● 富士乳業三島工場が本格稼働

富士乳業三島工場は、地上6階建て、延べ床面積約18,700㎡の広さに、カップ・パー・モナカ等の多彩な製造ラインを有するアイスクリームの最新鋭工場であり、昨年春に完成しました。

MOW（モウ）カップ・PARM（パルム）パー・MOW（モウ）モナカを中心とした商品群を製造しており、順調に稼働しています。今後もおいしくてユニークな新商品を製造してまいります。



## ● アロエ原料生産国タイ県知事から感謝状を授与

「森永アロエヨーグルト」に使用しているアロエ原料は、タイのプラチャップキリカン県（タイ中央部に位置）で生産されています。その発売12年目を迎えた昨年12月、森永乳業、兼松、長谷川香料の3社が同県知事より感謝状を授与されました。これは10年以上にわたり、安定的に現地でアロエを買い付け、栽培農家の育成やアロエ葉肉の缶詰製造に関する品質と技術の指導などにより、同県のアロエ関連産業の発展に貢献したことが認められたためです。



# Topics

# 商品のご紹介



## 森永のおいしい牛乳

牛乳にやさしい、  
新製法で作った  
新しいおいしさ。



## チルドドリンク

### 森永のおいしい 低脂肪牛乳 (一部地区発売)

生乳100%使用。  
新製法で作った、  
新しい低脂肪乳。



**New**

**ピクニック**  
ストロベリー/フルーツ/  
ヨーグルトテイスト/カフェ・オ・レ  
人気のピクニックがデザインリニューアル。



### ピクニックプリズマ

コーヒー/ストロベリー/フルーツ/ヨーグルトテイスト/カフェ・オ・レ  
人気のピクニックがプリズマ容器で新登場!!



### モカブレンド

モカブレンドコーヒー/モカブレンドカフェオレ  
コクがあり、香り高い本格コーヒー。

## 森永マミー

うれしいラクトフェリン入り。



## 贅沢倶楽部

ミルクのコクが織りなす、  
贅沢な味わい。



炭焼珈琲



莓ミルク





香りとココの  
エスプレッソコーヒー。



カフェラッテ



エスプレッソ<sup>2</sup>



ノンシュガー



ラテ・キャラメリゼ



カフェモカ

Sunkist

サンキスト100%  
果汁にこだわったハイクラスなおいしさ。

サンキスト ウォーター  
ごくごく飲めるフルーツ&ウォーター。



オレンジ



アップル



グレープフルーツ



ハワイアンパインウォーター アセロラウォーター



SUNKIST GROWERS, INC.のトレードマークライセンスにより畜産乳業の発売する製品です。Sunkist...  
©2012 SUNKIST GROWERS, INC., SHERMAN OAKS, CALIFORNIA 94423USA.の登録商標です。



リプトンが厳選した  
紅茶と果汁、ミルクの  
ハーモニー。



レモンティー



ミルクティー

New



グリーンティー  
& マスカット



ピーチティー

# 商品のご紹介



## チルドデザート



**アロエヨーグルト** 13年目を迎えるロングセラー。多彩なラインナップでますますパワーアップ。



**ナタデココヨーグルト**

朝食、おやつにぴったり。家族みんなのヨーグルト。

**角切りりんごヨーグルト**

**ブルーベリーヨーグルト  
ハンディスタイル**

朝の忙しい時間や仕事の合間に片手で簡単に食べられる、スプーンいらすのヨーグルト。

**マンゴーヨーグルト  
ハンディスタイル**



**具だくさんフルーツと  
ヨーグルト**

驚きのフルーツ量に大満足の  
ヨーグルトデザート。



**ビヒダスヨーグルト**

生きたまま腸まで届く  
ビフィズス菌BB536配合。  
特定保健用食品。



**ラクトフェリン200  
ヨーグルト/ドリンクタイプ**

話題のたんぱく質  
ラクトフェリン200mg配合。



**焼プリン**  
ほろ苦いカラメルソースで、飽きのこない味わい。



**たっぷりホイップ  
クリームプリン**  
なめらかカスタードプリンに  
ホイップクリームを  
たっぷりトッピング。



**とろける  
コーヒーゼリー**  
コクのある練乳クリーム  
ポーションがコーヒーゼリーの  
おいしさを引き立てます。



**フルーツゼリー3色3連**  
ストロベリー、グレープ、オレンジ、3つのおいしさ。

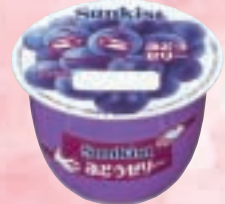


**森永プリン**  
口あたりなめらか、プリンスタンダード。

## Sunkist



**オレンジゼリー**



**ぶどうゼリー**

お子様からお年寄りまで大人気のフルーツゼリー。

SUNKIST GROWERS, INC. のトレードマークライセンスにより森永乳業の販売する製品です。Sunkist, SUNKISTはSUNKIST GROWERS, INC., SHERMAN OAKS, CALIFORNIA 91423 U.S.A. の登録商標です。



**空スイーツ**  
**とけあうキャラメリゼ焼きプリン**  
(世界各国の)本場の味わいをイメージした  
デザートです。  
生クリーム使用のクリーミーなプリンに  
ほろ苦いキャラメルソースをかけました。



**Petit Pot (プチポット)**  
**とろふわプリン こだわり卵のカスタード**  
小さなカップにおいしさを  
ぎゅっと詰めました。  
やわらかなくちどけプリンです。



**なめらか黒ごまぶりん**  
和素材をいかした和風ぶりんです。  
純練りの黒ごまをクリーミーな  
ぶりんに仕上げました。

# 商品のご紹介



## アイスクリーム



**ピノ**  
ひとくちアイスの代名詞。

**PARM**  
チョコレートバー／バナナバー／アーモンドチョコバー  
大人の味覚を満足させる、  
本格的アイスクリームバー。



**チェリオ**  
チョコ好きにはたまらない  
板チョコ入りバーアイス。



**Fami**  
バナナ&チョコ  
ミックスフルーツ  
で家族みなさまで楽しんでいただきたい、  
マルチパックです。



**MOW (モウ)**  
濃厚ミルクのクリーミーな味わい。

**クリスピーナ**  
おいしさ本位のお洒落な  
シュガーコーンアイス。



**涼風堂**  
抹茶／小倉／黒ごま／ゆず／栗入りあずきモナカ  
和風アイスの新定番。





## チルド乳製品



スライスチーズ

サンドイッチをはじめいろいろなお料理に。



とろけるスライス



チェダースライス



フレッシュモッツアレラ

北海道の新鮮な原乳を使用した本格派。

**100%パルメザンチーズ**  
ひとふりでお料理の味を引き立てます。



カマンベール入り  
6Pチーズ

フランス産「生」カマンベールを使用した、とろけるようになめらかなおいしさ。



切れてるチーズ

ナイフ不要、  
はがすだけで  
食べられます。



フィラデルフィア  
クリームチーズ

適度な酸味と豊かなコク。  
チーズケーキや  
いろいろなお料理に。



**北海道バター**  
北海道のフレッシュな  
生乳から作りました。



# 商品のご紹介



クリープ



詰め替え用ガセット

豊かなコクと自然な甘さがコーヒーの美味しさをより一層引き立てます。



クリープ・ポーション

## 食品ドライ



森永ミルク チューブ入  
ハンディで使い勝手抜群。



森永ミルク 缶入

いちごはもちろん、  
パンやコーヒーなどにも  
幅広くお使いになれます。

**森永Ca**  
ラクトフェリンスキム  
話題のラクトフェリンと  
ミルクカルシウム入り。  
本数が増えて新発売。

**New**



**森永スキムミルク**  
低脂肪・高たんぱく。  
料理にも大活躍。



## 育児食品・栄養食品



森永ドライミルク  
はぐくみ

母乳に最も近い栄養成分。  
ラクトフェリン配合。



森永フォローアップミルク

**チルミル**  
満9か月～3歳頃までの  
栄養補給に。



森永ベプチドミルク  
E赤ちゃん

ミルクのアレルゲン性に  
配慮しています。  
※ミルクアレルギー疾患用  
ではありません。

**New**

森永ベプチドミルク  
Eお母さん

妊娠・授乳期のお母さんが  
牛乳代わりに飲める  
栄養補給飲料。



**りんご  
3ビンパック**  
赤ちゃんにやさしい  
50%果汁飲料。



**イオン飲料 もも**  
体への吸収が良い  
低浸透圧タイプの  
水分補給飲料。





## 宅配専用商品

月極めご契約のご家庭に、1日当たり1本からお届けします。  
専用の保冷受箱などもご用意し、皆様の健康づくりをお手伝いします。

※一部地域では容器が異なる場合がありますが、中身・容量に違いはありません。



### 森永カルダス

ミルクカルシウム2倍  
(当社・普通牛乳比)、  
ビフィズス菌 (BB536)  
20億以上、鉄分1mg。  
特定保健用食品。



### 森永

#### ラクトフェリン Fe

ラクトフェリン100mg、鉄分6mg、  
ビフィズス菌 (BB536) 36億。  
ミルクタイプの  
ラクトフェリン入り低脂肪飲料。  
(東海以西より順次拡大)



### 森永

#### エースミルク

乳脂肪4.5%、  
おいしさにこだわった  
濃いミルク。  
栄養機能食品 (ビタミンD)。



### 毎朝爽快

ラクチュロースで  
おなかの調子を良好に。  
特定保健用食品。



### もろみ黒酢

純玄米黒酢8ml、  
琉球もろみ酢8mlを配合。  
飲みやすいりんご味。



### いきいき元気のもよぎヨーグルト/ おなかに配達ヨーグルト

ラクトフェリン、ビフィズス菌、  
ラクチュロースなどを配合。

お問合せ先

フリーダイヤル ☎ 0120-369-465

ミルクヨロコブ

<http://takuhaimilk.ne.jp>

## 森永ベビーフード

「離乳の基本」にそってつくられた安心なベビーフードです。  
(7ヵ月、9ヵ月、1才頃～)



野菜キッズ



**New**

レトルト  
シリーズ



**New**

おでかけに便利な  
ごはんとおかずのセット



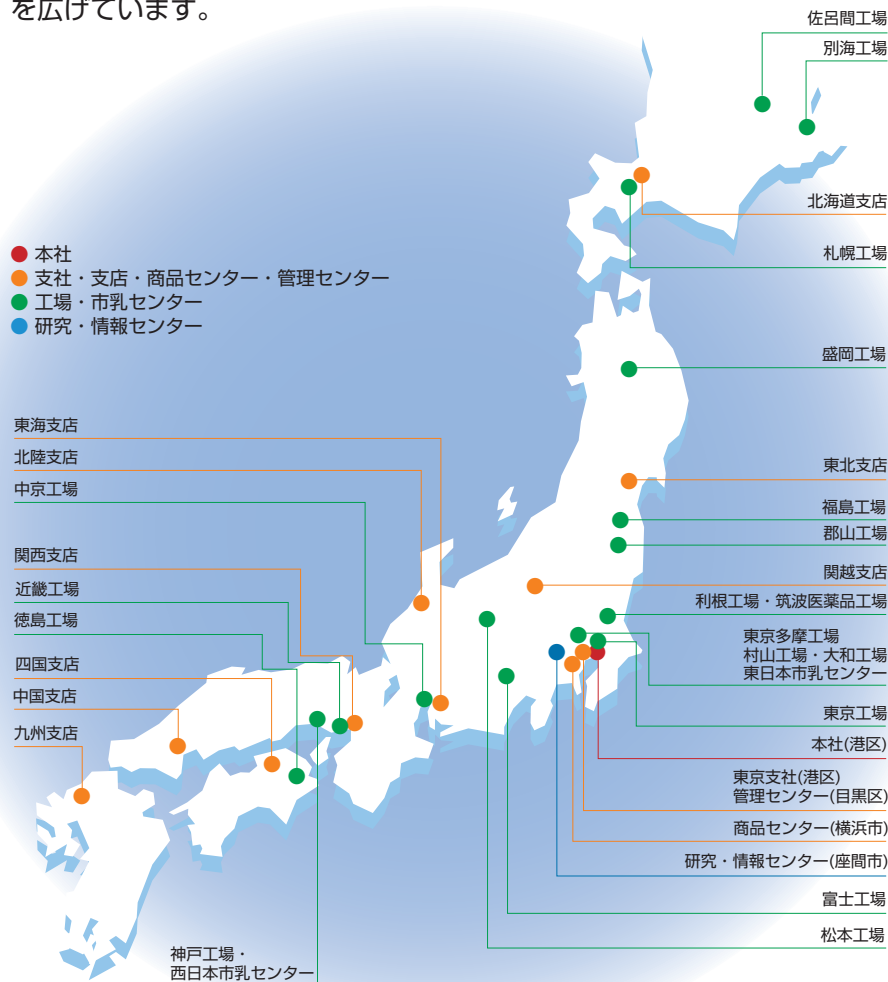
**New**

3つのメニューセット

# ネットワーク

## ◆ 国内ネットワーク

森永乳業は、本社・支店、工場、研究所など39事業所および関連会社を中心に、グループ企業、海外提携企業など、世界にまでそのネットワークを広げています。



## 工場見学のご案内

### ■ 東京多摩工場/大和工場

主な製造製品

東京多摩工場：牛乳・果汁飲料

大和工場：クリープ・育児用粉ミルク

住所：東京都東大和市立野4-515

1団体5~130名でいたします。

お子さまの見学は小学生から承っております。

お申し込み・お問い合わせ先

森永乳業(株) (本社) お客さま相談室

0120-369-744



### ■ 中京工場

主な製造製品：牛乳・アイスクリーム

住所：愛知県江南市中奈良1ツ目1番地

1団体15~90名でいたします。

50名以下であれば体験学習もできます。

お申し込み・お問い合わせ先

森永乳業(株) (東海支店) お客さま相談室

052-936-1521





## ◆ グローバルネットワーク

日本でもすっかり人気定着している「リプトン」「サンキスト」「クラフト」「スイス・エミー」などは、実は森永乳業の提携ブランド。グローバル企業との固いパートナーシップ、森永乳業の実力は世界で評価されています。



### 提携ブランド



#### Kraft Foods Inc.

クラフトは米国最大の食品企業。1970年に技術提携。



#### Unilever Japan Beverage K.K.

Liptonは英国の世界最大の紅茶メーカー。1984年に技術提携によりLipton Japan K.K. が誕生。2005年社名を変更。



#### Emmi Ltd.

スイスを代表する乳製品の総合メーカー。1992年にライセンス契約を結ぶ。日本では森永乳業がソフトヨーグルトを販売。



#### Sunkist Growers, Inc.

米国のサンキストといえば、フルーツの代名詞。日本では森永乳業が果汁やデザート製品を幅広く販売。



#### Fauchon

フランスが世界に誇る食のブランド。日本では森永乳業グループがアイスクリームを販売。



#### PT. SANGHIANG PERKASA

インドネシア最大の製薬および食品メーカー。1986年、技術供与により育児用粉乳の現地製造を開始。

### 現地法人・合併会社



#### Morinaga Nutritional Foods, Inc.

1985年米国ロサンゼルスに設立。森永の技術で長期保存が可能になった「TOFU」を全米で販売。



#### Morinaga Nutritional Foods Deutschland GmbH

1995年ドイツシュツツガルツに設立。現地でラクチュロースなどを販売。



#### Fromagerie Lorraine de Vezelise S.A.

1991年、三井物産株式会社およびフランスの4社とともにフランス国内に設立。ナチュラルチーズを製造。



#### Milei GmbH

スウェーデン、ドイツ、日本の4企業で1972年に設立。乳糖、ホエイ粉末、ラクチュロース、ラクトフェリンなどを生産。



#### Harbin Morinaga Milk Ltd.

1994年中国国営企業および三井物産株式会社とともに、ハルビン市に設立。中国国内で育児用粉乳を製造・販売。

# 会社概要

## ■ 会社の概況 (平成18年3月31日現在)

商号	森永乳業株式会社 MORINAGA MILK INDUSTRY CO.,LTD.
創業年月日	大正6年9月1日(日本煉乳株式会社)
設立年月日	昭和24年4月13日
資本金	21,704,355,355円
従業員数	3,087名
会計監査人	新日本監査法人 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル
主要な事業内容	牛乳、乳製品、アイスクリーム、 飲料その他の食品等の製造、販売

## ■ 役員 (平成18年3月31日現在)

代表取締役会長	大野 晃
代表取締役社長	古川 紘一
専務取締役	井上 邦昭
専務取締役	小野田 顯正
常務取締役	片岡 伸好
常務取締役	石井 忠
常務取締役	高橋 正宏
常務取締役	小久保 貞之
常勤監査役	高岡 昌昭
常勤監査役	北原 彰
監査役	松澤 泉
監査役	八重田 敏夫

## ■ ホームページのご案内

森永乳業のホームページでは、「森永のおいしい牛乳」やクラフトブランド「フィラデルフィアクリームチーズ」、「パルメザンチーズ」など商品オリジナルサイトを順次追加しています。さらに、「商品情報」や「CM情報」、「ヘルシーキレイレシピ集」の情報の更新、出張スタイルの料理教室「M's Kitchen」のご案内など、内容の充実をはかっています。

また、みなさまの生活をサポートする機能性素材、「ラクトフェリン」についても詳しくご紹介しています。

日々、内容を更新していますので、ぜひアクセスしてみてください。

### ホームページアドレス

<http://www.morinagamilk.co.jp>



# 株式情報

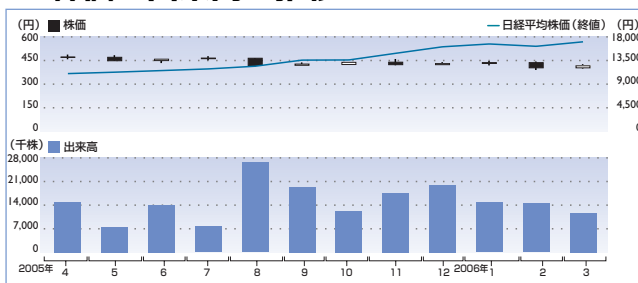
## ■ 株式の状況 (平成18年3月31日現在)

発行可能株式総数 480,000,000株  
 発行済株式総数 253,977,218株  
 株主数 39,451名

### 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
森永製菓株式会社	26,248千株	10.54%
株式会社みずほ銀行	12,431千株	4.99%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	11,792千株	4.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	10,644千株	4.27%
株式会社みずほコーポレート銀行	7,303千株	2.93%
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,942千株	2.79%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口	6,644千株	2.67%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口4	6,424千株	2.58%
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,619千株	1.85%
農林中央金庫	3,837千株	1.54%

## ■ 株価・出来高の推移



## ■ 株式のご案内

決算期 毎年3月31日

配当金受領株主確定日 毎年3月31日

### 公告方法

貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに開示しております。

<http://www.morinagamilk.co.jp/company/kessan/>

### 株主名簿管理人

#### 株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

#### 同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

#### (連絡先)

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 (〒171-8508)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

#### 同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

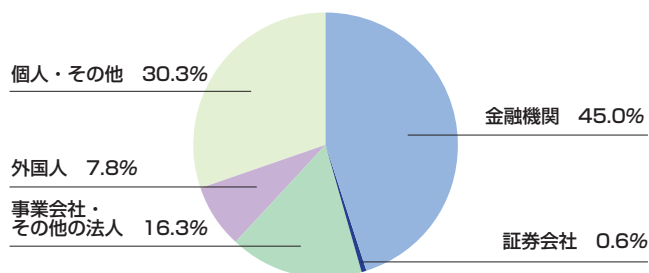
## お知らせ

■ 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買増・買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490 (24時間・自動音声対応)にて承っておりますので、ご利用ください。

■ 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので株主名簿管理人に指定書用紙をご請求ください。

ご注意 当社は中間配当制度を採用しておりません。

## ■ 所有者別株式分布状況





**違いは、開けた瞬間の香りでわかります。**

森永乳業は、「牛乳本来の自然なおいしさ」にこだわり、蒸気でやさしく包みこんで瞬間的に殺菌する新しい方法を採用しました。

この方法により、加熱による独特の臭いを抑え、より自然に近い味と香りを実現しました。



味わいまるやか、後味すっきり。

# 森永のおいしい牛乳

<http://www.oishi-milk.com>



おいしいをデザインする

**森永乳業株式会社**

東京都港区芝五丁目33番1号

電話03-3798-0111



この報告書は、環境に配慮し、古紙配合率100%再生紙を使用し、有機溶剤の少ない大豆油インキで印刷しています。